

腰椎椎間板ヘルニアに対する iPS 細胞抽出液 (iPSF) 椎間板内投与の臨床効果

(全医会) あいちせぼね病院理事長
あいち再生医療センター長
世界低侵襲脊椎外科学会理事長 (WCMSST)
鄭州第一付属病院客員教授
伊藤 不二夫 (FUJIO ITO)



【要旨】

〔目的〕 腰椎椎間板ヘルニアに対する iPSF 椎間板内投与の臨床的有用性を検討した。

〔対象〕 腰下肢痛の VAS が 5 以上で、手術回避を希望した 40 例を対象とした。椎間板内ステロイド注入 20 例 (S 群)、iPSF 単独注入 10 例 (I 群)、iPSF+ステロイド注入 10 例 (I+S 群) の 3 群に分け、治療成績を比較した。なお、全例にステロイドを使用しない仙骨ブロックを 1 か月ごとに施行した。

〔方法〕 透視下に椎間板内注入を施行し、腰下肢痛 VAS を治療前、1 週後、2 週後、1 か月後、3 か月後、6 か月後、1 年後に評価した。各群における治療前からの経時的変化および各評価時点での群間差を比較検討した。

〔結果〕 S 群は 1 週後に改善したが、その後効果は減弱した。I 群は 2 週以降、徐々に改善した。I+S 群は 1 週後から持続的に改善し、群間比較でも多くの時点で良好であった。

〔結論〕 S 群は早期効果、I 群は遅発性の中長期効果を示した。I+S 群は早期から中長期まで最も良好な治療効果を示した。

【略歴】

名古屋大学卒、国立名古屋病院神経内科、中部労災病院整形外科医長、名古屋大学病院リハビリテーション副部長、犬山中央病院整形外科部長兼副院長、伊藤整形・内科クリニック院長、藤田保健衛生大学脳神経外科学講座脊椎外科客員教授、あいちスポーツ人工関節クリニック院長等々を経て現職

【所属学会・所属団体】

日本脊椎・脊髄病学会
日本整形外科学会
日本低侵襲脊椎外科学会
日本関節学会
国際抗老化再生医療学会
再生医療抗加齢学会
日本美容皮膚科学会



一般社団法人

国際抗老化再生医療学会
World Academy of Anti-aging & Regenerative Medicine